

# お金・銀行・クレジットカード

Money / Bank / Credit Card

## 現金 (キャッシュ)

アメリカでは、多額の現金を持ち歩く習慣がありません。治安上の問題や、クレジットカードや小切手での支払いが一般化しているという事情もある。しかし、少額の買い物や飲食、クラブでお酒を飲む場合などは、もちろん現金払いである。ただし、ATMが24時間使えるので、現金の持ち歩きは最小限でよいだろう。

## 紙幣 (ビル)

紙幣には1、2、5、10、20、50、100ドルの各種がある。そのうち2ドル札は現在ほとんど流通していない。また、50、100ドル札は、店によっては受け付けないところもあり、利用価値はあまり高くない。



## 硬貨 (コイン)

コインは、それぞれ特徴付けられた名前と呼ばれている。1セント (ペニー)、5セント (ニックル)、10セント (ダイム)、25セント (クォーター)、50セント (ハーフダラー)、1ドル (ダラーコイン) の6種類である。しかし実際は、ハーフダラーはほとんど使われず、ダラーコインも一部の自動販売機で使われているのみである。



## ゴールデンダラー

2007年より、アメリカ歴代大統領を描いた1ドル硬貨が流通している。大統領の任期順に毎年4枚流通する予定で、2016年には第38代大統領までのコインが揃う。ちなみに、このゴールデンダラーは銅製で金は含有していない。

## ステートクォーター

1999年からスタートした「ステート・クォーター (50 State Quarters Program)」は、その名の通り、それぞれの州を象徴する絵柄がコインの裏面に描かれているクォーターのこと。2008年末に全州のコインが揃った。コレクターズ・アイテムとしても非常に人気がある。



## 銀行 (バンク)

口座を開く際は、FDIC (Federal Deposit Insurance Corporation) と呼ばれる連邦預金保険公社に加入している銀行を選ぶこと。通常、銀行の入口にFDICメンバーのステッカーが貼ってある。この保険の目的は預金者を保護することであり、預金している銀行が倒産した場合でも、各種預金残高のうち合計で10万ドルまでは預金者に補償される。

## 口座の開き方

口座の開き方には、ソーシャル・セキュリティ・ナンバーと、運転免許証、パスポートなどの身分証明書、住所などの連絡先が必要。日本と違うのは、基本的に口座保有に手数料がかかることである。しかし通常は、月平均預金残高が一定金額以上あれば手数料は免除される。

開設の際に使用した関係書類等は大切に保管し、とくにカードの暗証番号 (一般に、Personal Identification Number=PINと呼ばれる) は口外しないこと。銀行員がこの番号を尋ねることは絶対ない。

## 口座の種類と特徴

### ● 当座預金口座 Checking Account

小切手は当座預金を開くことで手に入れることができ、受け取った側がそれを現金化した段階で、代金が当座預金口座から引き落とされる。使用済み小切手のコピーは、毎月の口座報告書と一緒に銀行から送られてくる。支払いの証拠として重要なものなので、保管しておくこと。

1ヵ月の平均残高が一定の金額を下回った場合、口座維持費という手数料が口座から引き落とされる。なお、手数料の金額は銀行や口座の種類により異なる。また、当座預金口座には、利子の付くものは少ない。

### ● 普通預金口座 Saving Account

日本の普通預金口座と同様、出し入れ自由の口座。個人小切手の振り出しはできない。1ヵ月の平均残高が一定の金額を下回った月や、口座開設後2ヵ月以内に解約する場合に手数料がかかる。残高がゼロになると、自動的に解約処理される。

### ● 定期預金口座 Certificate of Deposit (CD)

日本と同様、一定の期間預けておく口座。一般的に金利はよい。金額、期間、利息は各銀行によって異なる。満期以前に解約すると違約金を取られるので注意すること。

### ● マネーマーケット Money Market

金利が市場金利に連動して毎週変更される口座。通常、一定の預け入れ期間が設定されており、満期以前の解約は違約金の対象となる。定期預金口座同様に比較的金利はよいが、定期預金口座が貯蓄的な口座として扱われるのに対し、マネーマーケットは投機的な意味合いが強い。

### ● プライベートバンキング Private Banking

多額の資産を持っている人のための部門。主に個人資産の管理を包括して行う。アメリカを拠点とする人のほか、海外資産を有効活用したい人にも有利。

### ● 個人退職基金口座 Individual Retirement Account (IRA)

個人が任意で行う年金資産の積み立てを指す税制上の優遇措置があり、2008、2009年で年間5,000ドル(50歳以上6,000ドル)までの非課税拠出が認められている。資格対象者は70.5歳までの所得者とその配偶者。原則59.5歳以前の引き出しには10%の手数料が課せられる。

### ● オンラインバンキング / PCバンキング Online Banking / PC Banking

自宅やオフィスにいながら銀行との取り引きや手続きをオンライン上で行えるシステム。営業時間外でも残高照会、請求書の支払い (クレジットカード含む)、口座開設、口座間の資金移動などが可能。

## 主な銀行の連絡先

### ● バンク・オブ・アメリカ Bank of America

Tel (800) 900-9000  
[www.bankofamerica.com](http://www.bankofamerica.com)

### ● シティバンク Citibank

Tel (800) 321-CITI (2484)  
[www.citibank.com](http://www.citibank.com)

### ● ソブリン・バンク Sovereign Bank

Tel (877) SOV-BANK (768-2265)  
[www.sovereignbank.com](http://www.sovereignbank.com)

## 小切手 (チェック)

アメリカでは、家賃や光熱費などの支払いを郵送で済ませることが多い。そのため、小切手があれば郵便局や銀行でマネーオーダー (為替) を作る手間を省くことができる。

## 個人小切手 Personal Check

個人口座から振り出す小切手。支払い先と金額の記入、名義人のサインがあれば、現金と同様に使える (当座預金口座からの引き落とし)。通常、小切手帳 (Check Book) から1枚ずつ切り離して使う。小切手帳は当座預金口座開設時にももらえるが、気に入ったデザインの注文も可能。

## 銀行小切手 Bank Check

銀行が保証する小切手で、主に商取引に使われる。銀行窓口で振り込み先と金額を告げ、1枚ずつ発行してもらう。代金は普通預金口座から引き落とされる。手数料は10~15ドル程度。

## 支払い保証小切手 Certified Check

銀行が支払いを保証する個人小切手のこと。個人小切手には常にバウンス (不渡り) する可能性があるのに対し、支払い保証小切手は、確実に換金できるという利点がある。手数料は5~10ドル程度。

## キャッシュマシン (ATM)

銀行の入り口やマシンにCIRRUSやNYCEのステッカーが貼られているところでは、現金の引き出しが可能。ただし、自分が口座を持っていない銀行の場合、手数料がかかる。閉店後の銀行に入るには、出入り口のカード差し込み口にカードを入れて引き抜き、ロックを解除する。

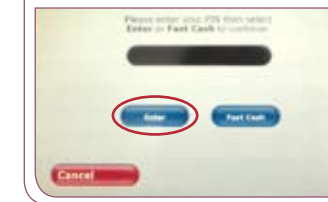
## ドライブスルーの使い方 Drive-through

郊外の銀行には大抵ドライブスルーがあり、車に乗ったままATMの利用が可能で、窓口の係員とやり取りできるところも

ある。この場合、マイクに向かって用件を伝え、お金や記入用紙などは円筒型の容器に入れる。それを透明のチューブに入ると、吸い上げられて係員まで届くようになっている。ただし現金の入金などは、安全上、銀行内での手続きをおすすめする。

## ATMの使い方 (引き出し)

1 カードを差し込み、引き抜く (差し込んだまま操作するところもある)。暗証番号 (PIN) を入力し、「Enter」キーを押す



2 サービスを選ぶ。現金を引き出すときは「Withdrawal」または「Fast Cash」



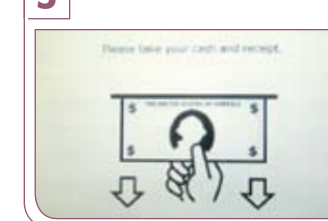
3 金額を指定する。20ドル単位で引き出しが可能



4 「Checking Account」または「Saving Account」から口座を選ぶ



5 現金を受け取る



※入金の場合は、備え付けの封筒に現金または小切手を入れ、2のときに「Deposit」を選ぶ。入金額と「Enter」キーを押し、「Checking Account」または「Saving

Account」から入金口座を選ぶ。金額が正しければ「Yes」を選び、差し込み口に封筒を入れる。

ATMでの入金は、口座への反映に数日かかることもある。高額の場合は安全面から窓口での手続きをすすめる。所定の用紙に必要事項を記入し、現金または小切手とともに窓口へ提出すればよい。カードの提示、暗証番号の入力が必要な場合もある。

## デビットカード

各金融機関が発行する、代金決済機能の付いたキャッシュカードのこと。クレジット会社のマークが付いていてもその機能はなく、1回払いとATMでの引き出しにのみ使用できる。支払い代金は利用した時点で銀行口座から引き落とされ、提携しているATMであれば、世界中どこでも現金の引き出しが可能。日本のデビットカードとは利用条件等が異なるため、直接金融機関へ問い合わせを。

## クレジットカード

アメリカでクレジットカードを作る場合、収入や資産などの審査基準は厳しい。ただし大手クレジット会社は、銀行と提携して口座開設を条件にカードを発行したり、学生向けに特別条件を設定している場合もある。また、下記の日本語が通じるクレジット会社は、アメリカではクレジットヒストリーがないが日本での履歴がよい人のために、ドル決済のカードも発行している。

請求書の支払いは小切手を郵送するのが一般的だが、口座を開いた銀行の窓口や、クレジット会社のウェブサイトでも支払うことも可能。

## 日本語が通じるクレジット会社

### ● プレミオ・カード Premio Card

Tel (800) 947-2030  
[www.premio.com/j/premio](http://www.premio.com/j/premio)

### ● ANAカード USA ANA CARD USA

Tel (800) 726-5558  
[www.anacardusa.com](http://www.anacardusa.com)

### ● JALファミリークラブ・プレミオ・カード JAL Family Club Premio Card

Tel (888) 576-2030  
[www.premio.com/j/jalpremio](http://www.premio.com/j/jalpremio)

### ● JCBカード JCB Card

Tel (800) FON4JCB (366-4522)  
[www.jcbusa.com](http://www.jcbusa.com)

### ● U.S. バンクカード U.S. Bankcard

Tel (888) 468-1155  
[www.usbsi.com/index.html](http://www.usbsi.com/index.html)